

| | | | | | | | | | |
|----------------------|--|------|----|---------|----|-------|-------|-----|-----|
| 講義コード | 11C1110406 | 授業形態 | 講義 | 事前登録の有無 | あり | 担当教員 | 鈴木 輝隆 | 開講期 | 第1期 |
| 科目名 | 経済フィールドワーク1(鈴木B) | | | | | 鈴木 輝隆 | | 第1期 | |
| 履修前提条件 | | | | | | 備考 | | | |
| 授業の目的 | 本講義では実際の経済・産業活動が行われている都市や地域を対象とし、データ収集や分析を行った上で、さまざまな視点から観察し、首長や経営者のヒアリングなど、現地調査を実施することにより、座学では得られない経験を通じて地域の考え方や経済について学ぶ。事前学習や現地の地域調査はグループ単位で実施し、チームごとにプレゼンテーションを行う。そのため、作業を通じたコミュニケーション能力や協調性、プレゼンテーション能力の向上に資する。 | | | | | | | | |
| 到達目標 | 対象地域の地域の経済・産業活動など、実際の現場に関する多角的な分析の視点を養い、データの収集や整理、関連情報のとりまとめ、プレゼンテーション方法を実践的に学ぶ。また、調査手法だけでなく、フィールドワークに必要な事前準備から調査を実践まで行うことで、準備から行動について検証することができる。グループでの話し合いや役割分担などの協働作業を行うことができる。 | | | | | | | | |
| 授業外学修内容・ 授業外学修時間数 | 当該内容について理解を深めるための予習や復習を推奨する。授業中は講義およびグループワークによる作業や議論が中心となるため、データ収集や資料のとりまとめなど、各自の分担作業については授業時間外に行うことが必要となり、計60時間以上の授業外学修を実施することを推奨する。また、授業時間以外に学外での現地調査を実施する。この現地調査への参加は必須である。 | | | | | | | | |
| 授業計画 | 【第1回】イントロダクション 【第2回】地域とフィールドワーク 【第3回】国土と地域の基本情報① 【第4回】国土と地域の基本情報② 【第5回】調査と分析 【第6回】データ収集と集計 【第7回】グループワーク① 【第8回】類似地域との比較 【第9回】グループワーク② 【第10回】ヒアリングとアンケート 【第11回】グループワーク③ 【第12回】プレゼンテーション 【第13回】グループワーク④ 【第14回】レポート作成 【第15回】グループワーク⑤ | | | | | | | | |
| 成績評価の方法 | ①通常授業の出席と態度、②学外フィールドワークへの参加(必須)、③レポート、④課題提出、⑤グループワークへの貢献、⑥プレゼンテーション等の総合評価による。 | | | | | | | | |
| フィードバックの内容 | 授業内プレゼンテーションへの講評、グループワークや課題、レポートに対するアドバイスや冊子の制作等を行う。 | | | | | | | | |
| 教科書 | | | | | | | | | |
| 指定図書 | | | | | | | | | |
| 参考書 | | | | | | | | | |
| 教員からのお知らせ | 本講義は、「経済フィールドワーク2(鈴木B)」とのセット受講とする。 履修の条件として、「経済フィールドワーク・ガイダンス」への出席が必要である(ガイダンスについてはポータルサイトなどで確認のこと)。 募集人数は12名程度とする。 履修者は、学外フィールドワーク(広島県尾道市:2泊3日、2018年8月8日(水)~10日(金)を予定)への参加が必須である。 学外フィールドワーク費用(交通費・宿泊費・施設見学費など)のうち、履修者の負担分として23,000円程度を徴収する(金額は若干の増減可能性あり・原則として返金は行わない・原則として食費等は自己負担)。 この学外フィールドワークは、現地集合、現地解散とする。 | | | | | | | | |
| オフィスアワー | 本授業に関する質問・相談は、原則として学部学科にて定めるオフィスアワーにて受け付ける。 | | | | | | | | |
| その他 | 授業およびフィールドワークではグループワークを実施するため、協調性・積極性をもって集団行動に努めることが必要である。 学外フィールドワーク等に充てた時間を授業時間より振り替えることがある。 参考資料等は適宜指示する。 | | | | | | | | |